

北海学園大学 人文学会

# 第7回大会 シンポジウム

人文学の学問性を  
どう担保するか

F・W・グラーフ — ミュンヘン大学・名誉教授

人文学の学問性をどう担保するか

小柳 敦史 — 北海学園大学

人文学の学問性と研究不正  
—最近の事例より—

コメント：須田 一弘 (北海学園大学) / J・ブシャー (北海学園大学)  
司 会：大森 一輝 (北海学園大学)  
使用言語：日本語・英語  
(グラーフ氏の発表とブシャー氏のコメントは英語で行われますが、  
原稿の日本語訳を配布します)



## Profile

フリードリヒ・ヴィルヘルム・グラーフ Friedrich Wilhelm Graf

フリードリヒ・ヴィルヘルム・グラーフ (Friedrich Wilhelm Graf) 氏はミュンヘン大学プロテスタント神学部組織神学・倫理学講座名誉教授。トレルチ協会名誉会長。近代社会における宗教的言説の生成と展開を、歴史的・社会的コンテクストとの相互作用の中で解明しようとする「神学史」叙述の第一人者として知られている。1999年には神学者として初めてライプニッツ賞を受賞した。また、新聞などのメディア上で、今日の社会問題や宗教問題に関する論説も多数発表している。著書は*Der heilige Zeitgeist. Studien zur Ideengeschichte der protestantischen Theologie in der Weimarer Republik*, Tübingen 2011, *Die Wiederkehr der Götter. Religion in der modernen Kultur*, München 2004他多数。邦訳書には『プロテスタンティズム』(教文館、2008年)、『トレルチと文化プロテスタンティズム』(聖学院大学出版会、2001年)などがある。



参加  
無料

予約  
不要

2019 10.7 [Mon] 15:00-17:30

北海学園大学 国際会議場

札幌市豊平区旭町4丁目1-40 [地下鉄東豊線「学園前」駅下車。3番出口]

連絡先 北海学園大学人文学部 小柳 敦史 電話: 011-841-1161 (代表) E-mail: koyanagi-a@hgu.jp

主催 / 北海学園大学人文学会

共催 / 科学研究費補助金 (基盤研究C) 「「キリスト教学」の範型としてのシュライアマハー＝トレルチ的伝統の再検証」(16K02212)